

新健康フロンティア戦略

～健康国家への挑戦～

(概要)

平成19年5月15日

塩崎議員提出資料

新健康フロンティア戦略(概要)

内閣官房長官主宰の「新健康フロンティア戦略賢人会議」において「新健康フロンティア戦略」が平成19年4月18日に取りまとまった。

国民の健康寿命の延伸に向け、予防を重視した健康づくりを国民運動として展開するとともに、家族の役割の見直し、地域コミュニティの強化、技術のイノベーションを通じて、病気を患った人、障害のある人、年を取った人も持っている能力をフルに活用して充実した人生を送ることができるよう支援し、健康国家の創設に向けて挑戦していく(実施期間:平成19(2007)年度~28(2016)年度)



○戦略の推進に向けた国民運動の実施

- ・インターネットその他の媒体を活用して積極的に広報
- ・「健康大使」の任命等

○今後、実施計画(アクションプラン)を策定し、具体的な施策の実施を図る。

○戦略の進捗状況をわかりやすく表現するため、指標を作成。

【戦略のポイント】

(1) 国民自らがそれぞれの立場に応じて行う健康対策

① 子どもを守り育てる健康対策(子どもの健康力)

- ・子育て期の医師の就労環境の整備等、産科医療・小児医療の確保
- ・発達障害児等を支援するための妊娠期から子育て、教育、就労に至る継続的な支援の推進、発達障害児等に関する国民全体の理解の促進 等

② 女性を応援する健康プログラム(女性の健康力)

- ・過度なダイエットによる健康リスクに関する意識啓発
- ・休日夜間での健診の実施による受診機会の拡充等「女性のがん」への挑戦 等

③ メタボリックシンドローム対策の一層の推進(メタボリックシンドローム克服力)

- ・「食事バランスガイド」の普及・啓発、健康関連産業の育成、個人の特徴に応じた治療(テーラーメイド治療)の研究開発と普及等メタボリックシンドローム対策・糖尿病予防の重点的推進 等

④ がん対策の一層の推進(がん克服力)

- ・遺伝子技術等を用いた早期診断技術の研究開発などがんの早期発見の推進
- ・手術中心の治療から集学的治療への転換の推進など、がん医療の提供体制の充実 等

⑤ こころの健康づくり(こころの健康力)

- ・発症前後のカウンセリングを含めた支援体制の構築等、認知症対策の推進
- ・早期診断技術の研究開発等、うつ対策の一層の推進 等

⑥ 介護予防対策の一層の推進(介護予防力)

- ・介護予防に関する国民意識の向上、効果的な介護予防サービスの提供
- ・骨・関節・脊椎の痛みによる身体活動低下、閉じこもりの防止 等

⑦ 歯の健康づくり(歯の健康力)

- ・個人が行うセルフケアの推進及び歯科医師によるプロフェッショナルケアの推奨による8020運動の推進 等

⑧ 食育の推進(食の選択力)

- ・家族で食卓を囲んで一緒に食べる意義を見直す国民運動の展開、家庭、地域、学校、保育所等の連携の推進等、健やかな生活習慣づくりのための子どもの発達段階に応じた支援の推進 等
- ・健康を守る食に関する知識の普及・啓発等、思春期の女性に対する食育 等

⑨ 運動・スポーツの振興(スポーツ力)

- ・外遊びやスポーツを通じた子どもの体力の向上
- ・総合型地域スポーツクラブの全国展開等、一生涯にわたる豊かな「スポーツライフ」の実現 等

(2) 新健康フロンティア戦略を支援する家庭・地域・技術・産業

① 健康を家庭・地域全体で支援(家庭・地域力)

- ・ワークライフバランスの推進等、子どもがすくすく育つ家庭・地域づくり
- ・身近な場所で、気軽に情報入手や相談ができる体制の整備 等

② 人間の活動領域の拡張に向けた取り組み(人間活動領域拡張力)

- ・福祉機器など障害者の社会参加を容易にする技術等、生活拡張技術の開発
- ・カプセル内視鏡等、先進的予防・診断・治療技術の開発 等

③ 医療・福祉技術のイノベーション(研究開発力)

- ・医薬等ベンチャー・基盤産業支援対策、実用化における臨床現場と産学の融合推進
- ・医薬品・医療機器の承認審査の迅速化等、実用化における製品・技術評価の迅速化 等

新健康フロンティア戦略賢人会議有識者メンバー

座長	黒川 清	内閣特別顧問
	春日 雅人	日本糖尿病学会理事長・神戸 大学医学部附属病院長
	高橋はるみ	北海道知事
	張 富士夫	トヨタ自動車株式会社取締役 会長
	土屋 了介	国立がんセンター中央病院 院長
	土井美和子	(株)東芝 研究開発センター 技監
	服部 幸應	服部栄養専門学校校長・医学 博士
	増田 明美	スポーツジャーナリスト・元マ ラソン選手